

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社
(以下「ディズニー」という)

第二回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

- 開催日時 : 2012年11月22日(木) 17:00~17:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
テレビジョン部門オフィス
スタジオ・ディズニー会議室
- 在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
加藤 諦三
木下 美子
戸田 奈津子
中川 真弥
前田 耕作
山田 顕喜
- その他、ディズニ : 編成部門担当者3名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニージュニアの番組編成・改編について
 - 2) ディズニージュニア放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
・「ドックはおもちゃドクター」

審議の概要

- 1) ディズニージュニアの番組編成について
ディズニー・ジュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- ディズニージュニアは、10月1日(月)の放送開始から、今のところはまだ大きな変更はない編成で進めている。字幕放送については、2ヶ国語で進めており、夜の23時以降については、英語音声に日本語字幕を付けている。
未就学児童が見る時間ではないが、録画をしたり、大人が観て英語を学習できるようにしている。学校教育では小学校4年生から英語の授業が始まるので、役立つのではないかと考える。
- ディズニージュニアは、良い視聴率が取れている。立ち上げは成功したと言える。
- ディズニー・チャンネルと競合せずに成功した要因は？
- 成功した要因として考えられるのは、それぞれのチャンネルがターゲットとする層へアプローチする番組の時間帯をずらして編成したことにより、各チャンネルにうまく誘導できていると思われる。現在は、両チャンネルにとって良い影響として作用しているが、今後お互いが競合しないように、注意していきたい。
- また、ディズニージュニアを視聴する年齢は、6～7歳くらいまでと想定しているのので、その後は、ディズニー・チャンネルやディズニーXDに、ぜひ興味を持ってもらえるように誘導していくことも重要と考えている。

2) ディズニー・ジュニア放送番組について

ディズニー・ジュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ドックはおもちゃドクター』について：

- 主人公の女の子ドックが、おもちゃたちのドクターとして、どこか調子の良くないおもちゃたちを治療してあげる(擬似的な医療行為をする)というのがエピソードのあらすじ。おもちゃたちの「病気」の原因を一生懸命究明したり、何とか治療してあげたいという姿勢の中に、「人に優しく接する」「面倒を見る」「思いやる」「他人と関る」ことなどのテーマが見られる。
- アメリカでも人気がある作品で、DVDリリースをはじめとして、お医者さんごっこのセットなども多数出ている。
- 小さな子は病院に行くことを嫌がったり、恐怖心があるので、それを取り除くような内容なのが良いと思う。おもちゃで遊ぶことによって、恐怖心を取り除く助けにもなるので、日本でもグッズを扱えば良いと思う。

- 今回、この番組と一緒に試写した子供たち（高校生くらいまで）が、このキャラクターなら人気があるのではないかと言っていた。
- 大人が観ている分にはそれほど面白くは感じないが、この番組には、人との関わり、ふれあい、仲間作りなど、人間が最も必要するものがあるように思えてきた。犯罪者の心を分析すると、そういった部分が欠けていることが見えてくる。この番組には、人に本来備わっているものが、沢山詰まっている。
- 自分としては、大人でも十分に楽しめた。子供のころの記憶を思い出して懐かしい気持ちになった。人の温かさをとても感じて、大変良い作品だと思う。こういったものを小さい時から見て行くのが良い。
- 当初、男の子の設定であったとのことだが、優しさ・思いやりといった点を前面に出すには、女の子が合っているのかなと納得した。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので17：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。